

ココロねっこ運動

「大人みんなで 子どもの心を育てよう」

～長崎っ子をすこやかに育てるために～



☆ ココロねっこ運動とは

子どもたちの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。長崎県では、「ココロねっこ」運動の一環として、あいさつ運動や子どもを見守る活動等に取り組んでいます。

☆ 大人が変われば子どもも変わる～大人のあり方を見直す～

子どもは、親や身近な大人をモデルとして成長します。また、「子どもは社会を映す鏡」と言われます。子どもの問題のある行動を、子どもの問題としてとらえるだけでなく、大人自身の問題として考えてみることも必要です。子どもたちは、よき手本を求めています。

☆ できることから、大人から

子どもは、日々成長しています。子ども期の成長のあり方は、その子の将来に大きな影響を与えます。子どもが大人になり人々とのよりよい関わりの中で自立して生きていけるように、私たち大人がモデルとなり、心の根っこをしっかりと育てたいものです。

☆ 「ココロねっこ運動」取組の具体的な提案

家庭では・・・

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを確立させましょう。
- ② 毎月第3日曜日（※標準日）は「家庭の日」です。家族の絆を深めましょう。
（例：家族10分間読書、家族一緒にの食事や会話）
- ③ 学校・PTA行事や地域行事に、すすんで参加しましょう。
- ④ 親の責任で携帯電話を持たせるときは、子どもたちを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

保育園・所、子ども園、幼稚園、学校では・・・

- ⑤ 楽しい遊びや学び、わかる授業を展開し、たくましく生きる力を育みましょう。
- ⑥ いじめや仲間外しがなく、安心して園・学校生活を送れるようにしましょう。

地域では・・・

- ⑦ あいさつ・声かけ運動を推進し、子どもも大人も顔見知りになりましょう。
- ⑧ 子どもや子育て家庭を温かく見守り、相談にのりましょう。

※ 7月と11月は、長崎県「ココロねっこ運動強調月間」です。

小中学生等に関する相談は少年センター(月～金 8:30～17:15)へ
電話0957-49-5263 Eメール：kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp

大村市 少年センター